



ななくに峠

〔教育目標〕 教養と品格を身に付け、社会に貢献する人間の育成

八王子市立七国中学校

令和7年3月25日

七国中だより

3月号ー2

第二十回 卒業式

3月19日（水）午前9時30分より、本校体育館にて第二十回卒業式が挙行されました。当日は朝から雪が降る天気模様でしたが、多くのご来賓の方及び卒業生のご家族の方にご参列いただきました。厳かな雰囲気の中にも温かなまなざしに見守られながら、175名の卒業は立派に巣立っていきました。



卒業式校長式辞より ～抜粋～

厳しい冬の時期を越え、ここ七国の大地にも、たしかな春の訪れを感じる今日のよき日に、八王子市教育委員会を代表して 健康医療部成人検診課長 田島 宏昭様をはじめ、多数のご来賓の皆様、ならびに保護者・ご家族の皆様のご臨席を賜り、七国中学校第二十回卒業式を挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、まことにおめでとうございます。心よりお慶び申し上げますと共に、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご支援を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

数々の懐かし思い出と、大きな夢、希望を胸にして、七国中学校を巣立っていく、175名の皆さん、卒業おめでとうございます。ただ今、一人一人に渡した卒業証書は、中学校3年間の全課程を修了した証です。同時に小学校6年間を含む、9年間の義務教育の全てを修了した証でもあります。ご家族の温かい励ましや地域の方々のご支援とご協力、小学校時代も含めた先生方のご指導によって、今日を迎えることができました。みなさんが手にしている卒業証書は、それら多くの方々の義務教育9年間の思いがたくさん詰まっています。その重みをしっかりと感じ、是非、笑顔とともにお世話になった方々へ感謝の気持ちを伝えてください。

さて、卒業生の皆さんに伺います。3年間を振り返り、どのような中学校生活でしたか。どのようなことがありましたか。勉強、部活動、委員会活動、学校行事などに取り組んできた思い出、仲間と過ごした日々、楽しかったこと、つらかったこと、嬉しかったこと、悲しかったこと。いろいろなことあったと思います。振り返った足元を見れば、3年間歩んできた足跡がしっかりと残っているはずです。さらにその先を見れば、15年間の足跡がついているはずです。そして、そこには一本の道がありませんか。でこぼこな道、曲がりくねった道、狭い道、広い道。道の途中には大きな岩や壁があったのではないのでしょうか。皆さんが歩んできた道はそれぞれ異なりますが、一步一步確実に歩み続け、岩を壊し、壁を乗り越えてきた努力、頑張りがあったからこそ、今日の卒業式を迎えることができたと思います。

そんな卒業生の皆さんに、心に刻んでほしい詩を一つ伝えます。パナソニック創業者、松下幸之助氏の「道」です。命の大切さを考える日に一度紹介した詩です。

自分には自分に与えられた道がある。天子の尊い道がある。どんな道かは知らないが、ほかの人には歩めない。自分だけしか歩めない、二度と歩めぬかけがえのないこの道。広い時もある。せまい時もある。登りもあればくだりもある。坦々とした時もある。かきわけ、かきわけ汗する時もある。この道が果たしてよいのか悪いのか、試案にあまる時もある。なぐさめを求めたくなる時もある。しかし、所詮はこの道しかないのではないのか。あきらめろと言うのではない。いま立っているこの道、今歩んでいるこの道、ともかくもこの道を休まず歩むことである。自分だけしか歩めない大事な道ではないか。自分だけに与えられているかけがえのないこの道ではないか。他人の道に心をうばわれ、思案にくれて立ちすくんでいても、道はすこしもひらけない。道をひらくためには、まず、歩まねばならぬ。心を定め、懸命に歩まねばならぬ。それがたとえ遠い道のように思えても、休まず歩む姿からは、必ず新たな道がひらけてくる。深い喜びも生まれてくる。

みなさんがこれまで歩んできた道を戻ることにはできませんが、様々な困難を乗り越え、歩ん

できた経験は、自信につながっているはずです。皆さんの前にはまだ道はありません。4月からは、希望と無限の可能性をもった大きな、大きな一歩踏み出して、自分の道を切り開いていってください。そして、これからも、皆さんが実践してきた本校の教育目標である「教養と品格を身に付け、社会に貢献する人間の育成」によって、たくましく生きる力を身に付けたということ、皆さん自身の行動で示してください。

結びにあたり、保護者の皆様の、三年間の多大なるご協力とご理解に對しまして、心より感謝申し上げます。今後とも本校へのご支援を賜りますよう、お願い申し上げたいと存じます。卒業生たちが、新しい歴史を造る開拓者として成長していくことと、一人一人の未来が幸多きことを記念し、式辞といたします。

令和7年3月19日 八王子市立七国中学校長 本田秀雄

卒業式 代表生徒の言葉

私は部活動で人を引っ張っていく大変さを学びました。2年生になり3年生が引退してから、私達が主体となり、1年生を引っ張っていかなければいけませんでしたが、試合中のプレイから練習中の声まで最初はうまくいかず、先輩にどれだけ頼っていたのかということがわかりました。そんな中、キャプテンとしてみんなを引っ張って行くことに苦戦していた時、まとめることができるようになるまで顧問の本田先生が応援してくれました。少しずつ練習中の声掛けができるようになりました。このような経験はいつになっても忘れません。これまで部活を応援してくださった保護者の方、指導して下さった顧問の先生方、本当にありがとうございました。

3年2組 障子 裕之

私たち太陽学級は、これまでたくさんの人と一緒に一人ではできないことも、協力し合って乗り越えてきました。ときにやさしく、ときにきびしく、教えてくれた先生。先生の「あきらめるな」の声かけは心に響きました。忘れられません。いつも一緒にいてくれた友達。バスケットボールの試合でパスが繋がったとき、こころもつながった気がしました。行事を通してたくさんのおとも経験しました。宿泊学習で毎年作ってきたカレーライス。もう一度みんなで食べたいです。そして家族のみんな。どんな時も、一番の味方でいてくれて ありがとう。受験で、くじけそうになっているときも、見守ってくれました。みんな、いままで本当にありがとう。卒業しても太陽学級で学んだことを忘れず、前を向いて進んでいきます。

太陽学級 水越 煌成

令和6年度 修了式講話より ～抜粋～

おはようございます。

3月19日に行われた卒業式では、175名の卒業生が、大きな希望と夢を胸に、堂々と巣立っていました。2年生の皆さんは、在校生としての式に臨む姿、とても素晴らしかったです。1年生の皆さんは、歓送のみの参加となりましたが、卒業生への感謝の思いを込めて、しっかりと送り出すことができました。とても立派でした。卒業生にとって、思い出深い卒業式になったと思います。

さて、1年生は入学式で、2年生は1学期始業式で皆さんに伝えたことがあります。『充実した1年間の過ごし方について、自分の目標をしっかりと立てて、実現に向けて努力を重ねてほしい』ということです。皆さんが立てた目標はそれぞれですが、チャレンジし、努力を続けてきたと思います。今日の皆さんの姿を見ると、1年前とは違って、より大きく成長した様子が私の目には映っています。本日は1年間の締めくくりとなる修了式です。この1年を振り返り、どれだけ目標に近づけたのか、どれだけ成し遂げられたのか、もう一度しっかりと検証して、新年度につなげてほしいと思います。4月からは、1年生は先輩となります。2年生は最上級生となります。学年が上がるということは、果たす役割や責任も大きくなります。学習、行事、生徒会活動、部活動など、様々な教育活動の場面で、後輩の手本となる意識をもって取り組んでください。そして、明日から始まる12日間の春休みが、新年度の飛躍に向けた準備期間となることを期待しています。

修了式での代表生徒による「一年を振り返って」 (敬称略)

1年生代表 1年5組 大滝 莉央

今年1年をふり返ると、私達の学年にとって大きな成長の年だったと感じます。中学校生活が始まったばかりの頃は、不安や緊張などを抱えていた人も多かったでしょう。しかし、日々の学校生活を通して、少しずつ環境に慣れ、友達との絆を深めながら、勉強や部活、行事に全力で取り組むことができたと思います。

特に印象的だったのは、体育大会です。この行事では、クラスや学年全体で協力し、1つの目標に向かって努力しました。準備期間中はうまくいかないこともありましたが、みんなで意見を出し合い、励まし合いながら乗り越えることができました。本番での達成感やみんなで成し遂げた喜びは、忘れられない思い出の1つになりました。

来年は、さらに学年全体として成長できるよう、様々なことに挑戦していきたいです。また、行事では今年以上に団結力を高め、一人ひとりが主体的に取り組むことができるようにしましょう。そして、来年は後輩が入学してきます。私達が先輩方に支えられたように、今度は私達が後輩を支え、手本となるような学年にしていきたいです。そのためにも、普段の学校生活の中で、挨拶や礼儀を大切にし、1分前着席や身の回りの整理整頓をし、思いやりのある行動を心がけることが必要だと思います。

この1年で私達は多くのことを学び、成長することができました。来年もさらに努力を続け、より素晴らしい1年にしていきたいと思います。

2年生代表 2年4組 竹井 希

早いもので、七国中で過ごす時間も、残すところ一年となりました。新しい環境に慣れるのに必死だった一年生の頃と比べ、この一年は勉強・部活動・行事に自分のペースでバランスよく向き合えた一年だったように思います。

私は前期は体育委員として体育大会の準備に力を注ぎました。三年生は自分の学年の競技の準備に忙しい中でも、三学年をまとめ上げ、全体を引っ張っていました。私たち二年生は、その三年生の姿から学ぶべき点が多くあると感じました。後期は学級委員としてクラスをまとめる立場につきました。何をするにしてもクラスの仲間たちの協力が不可欠であり、クラスや学年がまとまるためには一人一人の意識の持ち方が大切であることを感じました。

四月になると私たちは最高学年として、学校全体をまとめていかなければなりません。先を見通し、周囲への気配りを大切にすること、自分の行動に責任をもつことを心掛けていきたいと思います。また、体育大会や合唱コンクールなどの行事はもちろんのこと、日々の生活における一つ一つの活動に悔いを残さないよう、全力で取り組んでいきます。何事にも真剣に取り組み、楽しむ姿を下級生に見せていきたいです。受験もあり大変な一年になりますが、私たちの学校生活を支え、応援してくれている家族や先生方、友人等周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思います。

太陽学級 2年生 脇坂 峯汰

2年生で頑張ったことは2つあります。

1つ目は職場体験です。1日の仕事内容になかなか慣れず、スケジュールをこなすのがとても大変でした。

2つ目は学級委員です。専門委員会先輩と共に、クラスの改善点や、どうすればみんなと交わるのかなど、1つ1つ決めるのはとても大変でした。それでも2学期、3学期の長期間を乗り越えられたことは私にとって、とても良かったです。

そして4月からは3年生になります。3年生になったらやりたいことが2つあります。

1つ目は進学に向けて勉強する日数を増やすことです。1、2年生の頃よりも時間のやりくりを工夫したいです。

2つ目はボウリングです。私はボウリングを2年間続けています。8月にボウリング大会があるので、今までよりも更に良い練習になるようにしたいです。

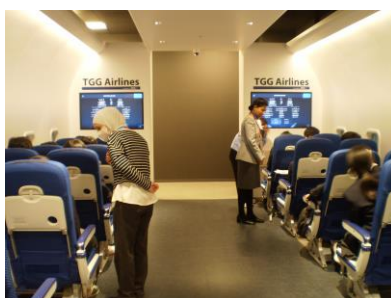
大掃除

3月21日（金）、3学期末の大掃除を行いました。1年間お世話になった校舎を感謝の気持ちを込めて清掃をしました。生徒は真剣に清掃に取り組み、校舎はとてもきれいになりました。来年度も、良い環境で新入生を迎えることができそうです。



2年生体験型英語学習

3月24日（月）、①英語を使用する楽しさや必要性を体感し、「通じた」「わかった」という成功体験を英語学習の意欲向上につなげる。②世界中から来日した多様な文化と価値観をもつES（English Speaker）との交流により生徒の視野を広げ、グローバル社会に羽ばたくきっかけとする。ことを目標に、「TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS」（立川）にて、体験型英語学習が実施されました。生徒たちは、18の班に分かれて「エアポートゾーン」「ショッピングゾーン」「多文化理解」などの外国にいるかのような非日常的な空間で、英語を話す楽しさやその必要性を体感しました。英語コミュニケーション能力向上に向けて、意欲的に取り組んでいました。



七国中生の頑張り

3月までに行われた大会等の結果です。[敬称略]

◆ 卓球部

【令和6年度 第31回関東中学校選抜卓球大会】（3/15、3/16）

■ 男子予選リーグ（1勝2敗）

七国 VS 南林間（神奈川2位） ●0-3
 七国 VS 根木内（千葉2位） ○3-0
 七国 VS 土浦第四（茨城4位） ●2-3 予選3位にて敗退

■ 女子予選リーグ（1勝2敗）

七国 VS 群馬中央（群馬6位） ○3-1
 七国 VS 宮崎（神奈川5位） ●2-3
 七国 VS 陽北（栃木1位） ●1-3 予選3位にて敗退

異動等（敬称略）

区分	職層	教科	氏名	異動先等
退職・転出等	退職	主任教諭	特支 興水 浩司	都立あきる野学園へ
	退職	養護教諭	養護 加藤 麻衣子	—
	任期満了	教諭	社会 酒井 俊英	—
	異動	主幹教諭	理科 堀田 崇	町田市立鶴川第二中学校へ
	異動	教諭	英語 前川 友紀	羽村市立羽村第一中学校へ
	異動	教諭	国語 鈴木 美萌裳	町田市立真光寺中学校へ
	任期満了	副校長補佐		井上 孝 —

お世話になりました

保護者の皆さまへ

今年度も本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございました。学習や行事、部活動などさまざまな教育活動の場面で子どもたちを支えていただき、感謝申し上げます。来年度も教職員一同、より良い教育活動を目指し、子どもたちの成長のために精一杯取り組んでまいります。引き続きご理解とご協力、ご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。一年間、ありがとうございました。